

「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム」

採択プログラム「総合大学が担う特色ある教員養成の質保証」の概要

岡山大学が取り組む「全学教職コア・カリキュラム」とは、総合大学として、21世紀社会と教育現場が要請する特色ある教員を養成し、その質を保証するために構築するものです。そのために、まず全学教職課程のディプロマポリシー（DP）を、「ESD（持続発展教育）の理念をもち、学習指導力・生徒指導力・コーディネート力・マネジメント力の4つの教育実践力を身につけた反省的で創造的な教員」として、明確化しています。

「全学教職コア・カリキュラム」は、各学部の教職課程の授業計画を学生に明示するために、DP・カリキュラムポリシー（CP）に基づいてシラバス内容を確認し、学部別「教職カリキュラムガイド」を作成し、教職オリエンテーション等で周知することに始まります。その上で、「教職論」「教育実践基礎研究」「教育実習」「学校教員インターンシップ」「教職実践演習」の5科目をコア（軸）にして構築し、カリキュラムポリシー（CP）を具体化するとともに、「教職論」で教職へのアドミッションポリシー（AP）を確認します。さらにこの教育実践力育成のプロセス管理を、評価規準を行動目標として明示した「教職実践ポートフォリオ」を用いて行い、厳密な評価につなげて質を保証するものです。

本取組では、「全学教職コア・カリキュラム」の構築・試行・評価・改善を行ない、大学教員の教職指導力向上のためのFD活動に取り組むとともに、実施のための教育行政・学校現場と連携した全学的体制整備を行うものです。

本事業は、これまで教育学部と教職大学院が行ってきた教員養成教育改善の取組の成果に基づいたものです。岡山大学の教員養成教育として大きく変わる点は、教育職員免許法に定められた科目の単位を取得すれば教員免許をえていた状況から、全学教職課程としてDPを明確化し、「全学教職コア・カリキュラム」でCPを具体化し、APを確認することで教師になる意欲を持った学生を教育する道筋を全学的に構築することにあります。